

■ 県産業労働観光部長との意見交換会

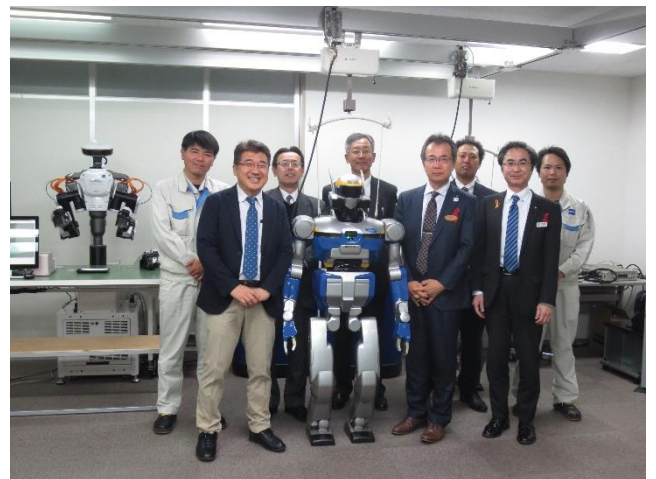
■ 企業視察

11月13日、小竹欣男県産業労働観光部長がカワダロボティクス株式会社様を視察しました。ご多用のところカワダロボティクス株式会社様を代表して圓尾勝彦栃木事業所長から歓迎のご挨拶をいただきました。

岡向英樹管理部長から映像を用いての企業紹介があり、川田工業(株)でのヘリコプター開発で培った「軽量・コンパクト化技術」を応用して、人の役に立つヒューマノイド(人型)ロボットの開発から人との共存をコンセプトとした双腕型産業用ロボットの開発など、次世代を見据えた最先端のロボット開発に挑戦している企業であることを理解することができました。

次に、人型ロボットを品質管理課 影山雅和様に操作していただき、民謡に合わせて踊る様子が写真上です。また、双腕型産業用ロボット(写真下左奥)による組立て作業も拝見させていただき、視察者一同最先端技術に驚くとともに、関心を示していました。

人との協働ロボットとして、梱包や組立てなど万一故障しても人が代われる作業を担い、人手不足改善につなげたいとも話されていました。既に、大手企業にも導入され活躍しているそうです。



■ 意見交換会

企業視察に続いて、栃木県工業団地管理連絡協議会主催による県産業労働観光部長と芳工連との意見交換会を管理センターで開催しました。

参加者は、栃木県産業労働観光部から小竹部長ほか職員2名、団管連事務局長、芳工連からは16社23名の総勢27名でした。

意見交換会に先立ち、細岡大会長は「10月4日に開催しました芳工連創立30周年記念事業の際にもご多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございました。さて、今年も台風15号、19号などの襲来を受け、特に台風19号による栃木県を含む東日本での河川の氾濫や浸水害、土砂災害の発生により、死者も多数を数え、農作物にも甚大な被害がでるなど激甚災害、非常災害となり

ました。このようなことから、災害時における企業の事業活動の継続を図る「事業継続計画（BCP）」に基づき、地域社会や経済の安定の確保とともに工業団地立地企業の安全・安心を向上するよう努めることが極めて重要と考えております。11日には県産業労働観光部経営支援課が実施しています「BCP策定支援事業」を活用させていただき、11社32名の参加のもと「BCPセミナー」を開催させていただきましたところでは。



本日は、企業が抱える課題や工業団地を取り巻く課題をご理解いただき、立地企業が安定した成長を持続できるよう、意義ある意見交換会となるよう願っています」と挨拶しました。

県産業労働観光部 小竹部長は「台風19号の襲来から昨日で1か月、1日も早い復旧を願っています。県内では芳賀町エリア内のみが無被害で何よりでした。先ほど企業視察でカワダロボティクス(株)様を訪問させていただき、人型ロボットなどの先端技術を拝見させていただきました。早く視察を受け入れてくださいましたカワダロボティクス(株)様に改めて感謝を申し上げます。

県では、雇用、観光に加え、国内外から選ばれる栃木を目指して取組を強化しています。また、国際戦略推進本部を設置して、工業、農業に集中して輸出促進に取り組んでまいります。

本日は、県の産業施策についてご説明をさせていただき、また企業様からの質問・要望に対して回答させていただきたいと思っております」と挨拶しました。

* 企業概要報告

工業団地立地企業を代表して、株式会社ベストロジ栃木の小堀洋平様、入江竜洋様から、輸送・物流・研究開発事業などに関する企業概要を説明いただきました。

* 県施策の説明

小竹部長が栃木県の産業政策について、次のように説明しました。

産業構造から県内総生産を見ると、製造業が占める割合は全国平均21.5%ですが、本県は約2倍の40.1%とかなり高い割合です。第2次産業の構成比については44.5%、うち製造業が40.1%で全国2位となっています。1位の滋賀県に次ぐ「ものづくり県」であることが分かります。製造品出荷額は平成28年、29年と全国12位、一人当たりの県民所得は平成27年全国4位です。



とちぎ産業成長戦略は5つのプロジェクトを戦略的に進める重点分野としています。さらに、これを支えるため2つの基盤施策に取り組んでいます。また、挨拶でも申しましたが新規に国際戦略推進本部を設置し、県庁内の分野や部局を横断した連携体制で「世界に選ばれるとちぎ」づくりを推進しています。

UIJターン就職支援については、首都圏107校の大学と就職促進協定を締結して、UIJターンを促進しています。また、「とちまる就活アプリ」や奨学金返還助成（県内製造業に就職）な

どの情報発信を強化しています。

- ◆ 以上のように、栃木県として重点的に取り組んでいる産業振興に係る施策について、分かり易い資料を活用して詳しくご説明いただきました。

■ 芳工連からの意見・要望に対する回答

会員企業様から提出された意見要望に対して、小竹部長から次のような説明がありました。

	意見・要望等概要	部長回答概要
人材確保について	<p>(1) 各企業とも、人材確保・雇用のための努力をしておりますが、栃木県としてこうした県内企業への人材確保・雇用の支援事業等があれば御説明をお願い致します。また、外国人についても同様の支援事業等があれば合わせてご説明をお願い致します。</p> <p>(2) 栃木県では、就職支援アプリ「とちまる就活」を作成し就活者に情報提供をしておりますが、現在実施している「企業面接会」の他に、県内に就職をしたい学生・保護者・求職者向けに企業（工業団地）訪問ツアー（企業プレゼンや懇談会、企業見学会等）を実施し、より時間をかけた見学・相談等が開催できないかご検討をお願い致します。</p> <p>(3) 全国的に国内人材では足りず、海外から外国人を雇用している状況もあり、今年4月にはとちぎ国際交流センター内に「企業向け外国人材雇用等相談窓口」も開設されました。相談窓口については、まだまだ各企業への認知度が低いと感じていますが、開設後の相談状況やどのような相談が企業から寄せられているのかをお教えてください。</p>	<p>(1) 県施策説明資料を参照ください。</p> <p>(2) 検討したい。 なお、高校3年生対象にPR用DVDを作成して、来年度から活用します。</p> <p>(3) 4/18～毎月第3木曜日のみの開設のため、16件と利用少ない。第3木曜日以外でも連絡により対応可能としていきたい。</p>
交通渋滞対策について	<p>工業団地に立地する企業の従業員数が年を追って増加しており、通行車両は増加の一途を辿り工業団地周辺の交通渋滞は深刻で、今なお一部で慢性的な交通渋滞が発生している状況です。</p> <p>このため、交通渋滞により企業活動に影響がないよう、信号機の設置や信号のタイミングの見直しなど、下記のとおり要望します。</p> <p>(1) 信号機の設置</p> <p>① 県道宇都宮向田線台の原十字路に町道（かしの森公園通り）からの左折信号機の設置【図面 No1】※</p> <p>② テクノ街道交差点の岡本方面への右折信号の設置等（右折信号の設置、片側2車線化、右折車線の延長など）【図面 No2】</p> <p>(2) 信号のタイミングの見直し</p> <p>① 国道408号宇都宮高根沢バイパスとテクノ街道との交差点及び清原学園通りとの交差点の信号のタイミングの見直し【図面 No3】</p> <p>② 国道408号宇都宮高根沢バイパスと県道宇都宮向田線との野高谷交差点の青信号の時間延長【図面 No4】</p> <p>③ テクノ街道と辰街道交差点の信号のタイミングの見直し【図面 No2】</p> <p>(3) 案内看板の設置</p> <p>・ 県道宇都宮向田線芳賀台北交差点前に案内看板の設置【図面 No5】</p>	<p>宇都宮～芳賀町の工業団地までの信号のタイミングについては、LRT開通時に交通管制センターにおいてリアルタイム制御していく予定です。</p> <p>(1) - ②は来年度末までに鬼怒川右岸の4車線化を完了し、その際、右折レーンを延長予定。</p> <p>(2) - ②は既に交通管制センターでリアルタイム制御を実施中です。</p> <p>(3) 実態調査して対応したい。</p>
道路管理について	<p>県道宇都宮茂木線の歩道部分において、雑草が繁茂し、通行の妨げになっておりますので、除草及び植樹柵の舗装を要望します。【図面 No6】</p>	<p>今年度中に植樹柵の舗装工事を実施。歩道中の白線も引き直す予定。</p>

※ 【図面 No】は、次ページの要望箇所一覧中の No です。

◆交通渋滞等解消要望箇所一覧



■ BCP（事業継続計画）策定に向けたセミナー開催

11月11日、11社32名の参加のもと「栃木県BCP策定支援に関する協定」を県と締結している東京海上日動火災保険(株)栃木支店の江草圭氏(Tel.600-7141)を講師に迎え、「BCPはなぜ必要か?」「BCP(入門編)の作り方」を中心にセミナーを開催しました。

近年、大地震、台風による風水害など大災害が頻繁に発生しています。企業が緊急事態に遭遇した際に、事業資産の損害を最小限にとどめ、中核となる事業の継続又は復旧を可能とするためには、平時から事業継続のための方法、手段などを決めておく必要があります。

BCP策定済の企業では「災害対応力の向上」「環境整備・業務改善」「取引先の信頼向上」などの経営効果を実感していると調査報告されていますので、全会員企業様の積極的な取組をお願いします。なお、策定にあたっては無料で支援していただけますので、ぜひ活用してください！



■ 環境整備部会 花壇にパンジー植付け



11月14日に開催した第2回環境整備部会に、11社12名の出席をいただきました。会議に先立ち、ひばりが丘公園運動場の花壇にパンジーの植付けをしました。配色の組み合わせを考えながらも、驚くほどの早業で植付けが完了しました。寒さ厳しいこれからの冬季間も綺麗な花が、来場者を和ませてくれることと思います。

その後、管理センターで開催した会議において、半田毅部会長は、参加者に謝辞を述べ「皆様のご協力で30周年記念事業を始め、上半



期の事業が無事執行できたことを感謝申し上げます。下半期も滞りなく執行したいので、引き続きご協力をお願いします」と挨拶しました。

環境整備・安全衛生部会合同研修会は2月5日首都圏外殻放水路を見学することで決定しました。

■ 芳賀町商工会との交流会

恒例の町商工会との交流会を11月22日、町商工会館に芳工連14社18名、商工会会員19名の総勢37名が集い開催しました。商工会と芳工連の会員が一堂に会し、研修、懇談等による交流と親睦を図ることで、産業振興による地域発展への寄与を目的として開催しています。

主催者を代表して、小林信二商工会長が「商工会と芳工連との交流会が、多くの皆様のご出席をいただき開催できますことを感謝申し上げます。25～26年前から若手商店主からLRT導入の声が上がリ、現在は工事が着々と進んでいる状況です。本日は「LRT事業と未来構想について」ご講演をいただきます」などと挨拶しました。

交流会は、宇都宮ライトレール(株)常務取締役 中尾正俊様による講演と、町都市計画課 佐藤宏則主査による芳賀町のLRT事業～現状と未来構想～説明との2部構成で開催されました。

講演では、現在の工事の進捗状況と、まちづくりについて芳賀町・宇都宮市・栃木県との連絡・調整・提案役を商工会と芳工連に期待、かしの森公園のテーマパーク化(例：一大昆虫園)、県央周辺の鉄道・軌道のネットワーク(将来構想)など多岐にわたる提案もありました。

交流会の後、芳賀温泉ロマンの湯に場所を移し、総勢35名の参加者による懇親会を盛大に開催しました。開会にあたり芳工連細岡会長が「LRTは、人口減少、少子・超高齢社会を迎える中において、子どもから高齢者まで安心して暮らせる魅力あるまちとして発展するための公共交通として期待されています。LRT開業の暁には工業団地に立地するすべての企業、そして芳賀町にプラスの効果をもたらすよう強く願っております」などと挨拶しました。見目匡芳賀町長、古谷一良副町長、小林信二町議会議長、北條勲町議会産業建設常任委員長、赤澤幸男町建設産業部長、綱川有美町商工観光課長をご招待した懇親の場は、宇都宮ライトレール(株)の高井社長、中尾常務にも参加をいただき、親睦を深めることができました。



■ 真岡地区産業安全衛生大会

真岡労働基準協会は11月19日、会員事業場の労働安全衛生の更なる推進を図る目的で、真岡労働基準監督署の指導のもと真岡地区産業安全衛生大会を真岡市内で開催しました。

主催者である真岡労働基準協会会長 中村卓也 日産自動車栃木工場長は「年末に向けて労働災害の発生が増加する傾向がありますので、安全に対する決意を新たにできればと思います。真岡管内の労働災害の発生状況は、10月末までに死傷者数は137件で前年同期と比較して25件増加、死亡災害は前年同期と比較して1件増加し2件発生しています。主な原因は挟まれや巻き込まれです。本大会を機に、いま一度労働災害防止の重要性を再確認され、真岡管内の災害を0とするため、なお一層の災害防止の取組について皆様のご尽力をお願いします」などと挨拶しました。

第1部の表彰式で、(株)ベストロジ栃木様が一般社団法人真岡労働基準協会会長から優良事業場表



彰を受けました。また、優良従業員表彰を(株)本田技術研究所統括機能本部の花岡竜一様、藤本里美様の2名が受賞しました。

第2部の特別講演は、ウォーキング指導者の「みのわ あい。」さんによる「安全第一！健康第一！職場の安全は一人ひとりの健康づくりから」と題したストレッチを中心とした内容でした。参加者全員が息を切らしながらも「つま先立ちと踵立ち」を交互に繰り返して、歩くときは踵から着いて、つま先で蹴ると良いなど、体を動かしながらの分かりやすい健康づくり講演で大変好評でした。

その後開催された情報交換会で、芳工連細岡会長が開会の挨拶を担当し「本日の大会を契機に、労働者の安全と健康の確保はすべてに優先することを再認識していただき、経営者も安全衛生活動の徹底に尽力され、労使が一丸となって災害の無い、安全で快適な職場づくりに最大限努力されますようお願い申し上げます」などと挨拶しました。

芳工連会員企業の皆様を始め、普段お話しできない各市町の事業所の皆様と有意義な情報交換をすることができました。



■ 管理センター管理組合役員会を開催

11月13日、芳賀町と芳工連によって組織運営する芳賀町工業団地管理センター管理組合の役員会を開催しました。当組合は、管理センター及び体育館の運営や施設管理を行うとともに、芳工連の活動運営の助長と地域における施設の有効利用の促進を目的としています。

古谷一良組合長(芳賀町副町長)は「10月4日に開催されました芳工連30周年記念式典では、大変お世話になりました。芳工連の益々のご発展をご祈念申し上げます」などと挨拶しました。

会議では、上半期の管理運営状況、予算執行状況、工事及び修繕等の内容、会議室及び体育館利用状況などについて審議いただきました。特に今後予定する工事として、空調設備の老朽化に伴う改修、屋外喫煙所の設置、体育館照明のLED化については慎重審議の結果、いずれも実施する方向で承認されました。



■ 部会長の交代・社名変更のお知らせ

◆ 次の部会長さんが所属企業様の人事異動により交代となりました。

部会・役職名	企業名	変更前	変更後	交代日
安全衛生部会長	ホンダ開発(株)	高山 大輔	山田 将之	12月1日

◆ (株)尾関商店芳賀工場様は、12月9日付けで「扶和メタル(株)宇都宮支店」に社名が変更されます。よろしくお願いいたします。

< 芳工連日誌 >

【11月の実績】

- 10日 芳賀町民祭
- 11日 BCP(事業継続計画)セミナー
- 13日 県産業労働観光部長との意見交換会
- 13日 管理センター管理組合役員会
- 14日 第2回環境整備部会
- 19日 真岡地区産業安全衛生大会
- 22日 芳賀町商工会との交流会
- 27日 初級管理者研修会、資源ごみ回収日
- 28日 芳賀郡市公衆衛生大会
- 29日 総務企画部会主催全体研修会

【12月の予定】

- 7日 第59回ゴルフ大会
- 11日~31日 年末交通安全県民総ぐるみ運動
- 13日 危険予知訓練(KYT)研修会
- 19日 第3回役員会
- 25日 資源ごみ回収日
- 27日 仕事納め

■ 管理センター休館のお知らせ

管理センターは12月28日(土)から1月5日(日)まで、年末年始の休館日となります。